

## 平成23年12月期 第1四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高
7. セグメントの変更について

**オエノンホールディングス株式会社**

平成23年5月11日

# 1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 3月31日	自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 3月31日		
酒類事業	15,140	15,030	△ 110	99.3
加工用澱粉事業	922	967	45	104.9
酵素医薬品事業	836	764	△ 72	91.4
バイオエタノール技術実証事業	156	119	△ 37	76.3
不動産事業その他	120	119	△ 1	99.0
売上高	17,176	17,001	△ 175	99.0
売上原価	14,055	13,801	△ 253	98.2
売上総利益	3,120	3,199	78	102.5
販売費及び一般管理費	3,344	3,058	△ 286	91.4
酒類事業	△ 445	△ 157	288	-
加工用澱粉事業	46	56	9	119.6
酵素医薬品事業	203	128	△ 75	62.9
バイオエタノール技術実証事業	△ 104	36	141	-
不動産事業その他	75	76	0	101.2
営業利益又は営業損失(△)	△ 223	140	364	-
営業外収益	76	89	13	117.4
営業外費用	105	87	△ 17	83.6
経常利益又は経常損失(△)	△ 253	142	395	-
特別利益	54	17	△ 36	32.3
特別損失	57	513	455	896.1
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 256	△ 353	△ 97	-
法人税等合計	△ 27	△ 153	△ 126	-
少数株主利益	5	15	10	308.4
四半期純損失(△)	△ 234	△ 215	18	-
1株当たり四半期純損失(△)※円	△ 3.58	△ 3.30	0.28	-
減価償却費	821	686	△ 134	83.6

注 平成23年度第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準/適用指針」の適用に伴い、マネジメント・アプローチに基づいたセグメント区分に変更しております。

(平成22年度実績についても新セグメントで表示。)

なお、新セグメントの詳細は8ページ「7. セグメントの変更について」をご覧ください。

## 2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比 (%)
	自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 3月31日	自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 3月31日		
焼 酎	8,173	7,974	△ 198	97.6
( 甲 類 焼 酎 )	(2,930)	(2,870)	(△ 59)	(98.0)
( 乙 類 焼 酎 )	(5,243)	(5,104)	(△ 139)	(97.3)
チ ュ ー ハ イ	1,266	1,458	192	115.2
清 酒	2,073	1,925	△ 148	92.8
合 成 清 酒	1,029	939	△ 90	91.2
み り ん	243	198	△ 45	81.4
ア ル コ ー ル	796	1,110	314	139.5
洋 酒	1,113	1,045	△ 68	93.8
そ の 他	442	377	△ 65	85.3
酒 類 計	15,140	15,030	△ 110	99.3
加 工 用 澱 粉	922	967	45	104.9
酵 素 医 薬 品	836	764	△ 72	91.4
不 動 産	103	103	△ 0	99.7
バ イ オ エ タ ノ ー ル	156	119	△ 37	76.3
そ の 他	17	16	△ 0	95.0
合 計	17,176	17,001	△ 175	99.0

### 3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	288	原材料コストの上昇による原価増△170 苫小牧工場減価償却費の減+50 販売促進費など販管費の減+300 取引条件の見直しによる影響等+108
加工用澱粉事業	9	売上高増加による利益増
酵素医薬品事業	△ 75	輸出売上高減少による利益減、原価増
バイオエタノール技術実証事業	141	減価償却費を含む製造原価減による利益増
不動産事業その他	0	
営業利益	364	
営業外収益	13	為替差益の増加
営業外費用	17	支払利息の減少
経常利益	395	
特別利益	△ 36	前年:事故米穀関連助成金等
特別損失	△ 455	東日本大震災による損失、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額
税金等調整前四半期純利益	△ 97	
法人税等	126	
少数株主利益	△ 10	
四半期純利益	18	

## 4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度末 平成22年12月31日	当第1四半期 連結会計期間末 平成23年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	2,363	2,243	△ 119	94.9	
受取手形及び売掛金	22,100	13,858	△ 8,241	62.7	季節要因による 売上高減
たな卸資産	8,290	9,325	1,034	112.5	
繰延税金資産	739	908	169	122.9	
その他	748	1,045	296	139.6	未収法人税の増
貸倒引当金	△ 18	△ 12	5	-	
流動資産合計	34,224	27,369	△ 6,854	80.0	
建物	8,260	8,133	△ 126	98.5	減価償却による減
土地	8,791	8,800	9	100.1	
その他	8,352	7,994	△ 357	95.7	減価償却による減
有形固定資産計	25,403	24,928	△ 474	98.1	
無形固定資産	1,297	1,221	△ 75	94.2	
投資有価証券	1,166	1,125	△ 41	96.4	時価の下落
長期前払費用	182	167	△ 15	91.7	
繰延税金資産	240	267	27	111.3	
その他	242	242	△ 0	99.9	
貸倒引当金	△ 12	△ 12	△ 0	-	
投資その他の資産計	1,819	1,789	△ 29	98.4	
固定資産合計	28,520	27,939	△ 580	98.0	
資産合計	62,744	55,309	△ 7,435	88.2	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度末 平成22年12月31日	当第1四半期 連結会計期間末 平成23年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,384	5,519	△ 864	86.5	季節要因による 売上高減
短期借入金	4,230	4,730	500	111.8	
未払金	4,844	3,378	△ 1,465	69.7	季節要因による 売上高減(割戻減)
未払酒税	9,466	5,076	△ 4,390	53.6	季節要因による 売上高減
その他	2,297	1,979	△ 318	86.2	未払法人税、未払消 費税の減
流動負債合計	27,223	20,684	△ 6,538	76.0	
長期借入金	10,530	10,122	△ 407	96.1	
その他	5,312	5,528	215	104.1	
固定負債合計	15,842	15,650	△ 191	98.8	
負債合計	43,065	36,335	△ 6,730	84.4	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,576	5,576	-	100.0	
利益剰余金	4,881	4,208	△ 673	86.2	
自己株式	△ 59	△ 59	△ 0	-	
株主資本合計	17,345	16,671	△ 673	96.1	
その他有価証券評価差額金	30	0	△ 29	0.4	
繰延ヘッジ損益	△ 1	1	3	-	
評価・換算差額等合計	28	2	△ 26	7.3	
少数株主持分	2,305	2,301	△ 4	99.8	
純資産合計	19,679	18,974	△ 704	96.4	
負債純資産合計	62,744	55,309	△ 7,435	88.2	

## 5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成22年 1月 1日 至 平成22年12月31日	当連結会計年度 自 平成23年 1月 1日 至 平成23年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	74,972	74,613	△ 358	99.5
加工用澱粉事業	3,711	3,911	199	105.4
酵素医薬品事業	3,709	3,970	260	107.0
バイオエタノール技術実証事業	830	1,020	189	122.8
不動産事業その他	483	484	1	100.3
売上高	83,707	84,000	292	100.3
売上原価	66,360	66,545	185	100.3
売上総利益	17,347	17,454	106	100.6
販売費及び一般管理費	15,237	15,254	17	100.1
酒類事業	962	922	△ 39	95.8
加工用澱粉事業	168	67	△ 101	39.9
酵素医薬品事業	956	1,052	96	110.0
バイオエタノール技術実証事業	△ 241	△ 135	106	-
不動産事業その他	264	292	28	110.7
営業利益	2,110	2,200	89	104.2
営業外損益	△ 95	△ 99	△ 4	-
経常利益	2,015	2,100	84	104.2
特別損益	△ 31	△ 550	△ 518	-
税金等調整前当期純利益	1,983	1,550	△ 433	78.1
法人税等合計	1,036	775	△ 261	74.8
少数株主利益	48	24	△ 23	51.4
当期純利益	898	750	△ 148	83.5

## 6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度		当連結会計年度		増減(△)	前年対比 (%)
	自 平成22年 1月 1日 至 平成22年12月31日		自 平成23年 1月 1日 至 平成23年12月31日			
焼 酎	41,292		40,369		△ 923	97.8
( 甲 類 焼 酎 )	(16,381)		(16,162)		(△ 219)	(98.7)
( 乙 類 焼 酎 )	(24,910)		(24,207)		(△ 703)	(97.2)
チ ュ ー ハ イ	6,894		7,041		146	102.1
清 酒	8,862		9,018		155	101.8
合 成 清 酒	4,812		4,705		△ 107	97.8
み り ん	1,273		1,214		△ 59	95.4
ア ル コ ー ル	3,914		4,357		442	111.3
洋 酒	5,767		5,821		53	100.9
そ の 他	2,155		2,088		△ 66	96.9
酒 類 計	74,972		74,613		△ 358	99.5
加 工 用 澱 粉	3,711		3,911		199	105.4
酵 素 医 薬 品	3,709		3,970		260	107.0
不 動 産	414		415		0	100.2
バ イ オ エ タ ノ ー ル	830		1,020		189	122.8
そ の 他	68		69		0	101.3
合 計	83,707		84,000		292	100.3



## 7. セグメントの変更について

### 旧セグメント

区分	主な製品・サービス
酒類	焼酎、チューハイ、清酒、合成清酒、梅酒、加工用洋酒、ワイン、酒類原料用・工業用アルコール
食品	加工用澱粉、調味料、食品(副産物)
酵素医薬品	酵素、原薬、診断薬、健康食品
不動産	不動産の売買・賃貸
バイオエタノール 技術実証	バイオエタノール、エタノール蒸留粕
その他	飲食店経営
	倉庫保管荷役
	その他

### 新セグメント

区分	主な製品・サービス
酒類	焼酎、チューハイ、清酒、合成清酒、梅酒、加工用洋酒、ワイン、酒類原料用・工業用アルコール
	調味料、食品(副産物)
	飲食店経営
加工用澱粉	加工用澱粉
酵素医薬品	酵素、原薬、診断薬、健康食品
不動産	不動産の売買・賃貸
バイオエタノール 技術実証	バイオエタノール、エタノール蒸留粕
その他	倉庫保管荷役
	その他

### セグメント変更内容

- 従来、食品セグメントに含めていた調味料及び食品(副産物)については、使用生産設備、製造工程及び市場、顧客等が、ほぼ酒類と同一であることから酒類セグメントに含めることと致しました。  
また、同じく食品セグメントに含めていた加工用澱粉については、使用生産設備、製造工程及び市場、顧客等が独立的であり、金額的にも重要であることから単独のセグメントと致しました。
- 不動産セグメントについては、過去において、セグメント外・内部取引についても、その損益を認識し、経営資源の配分及び評価を行ってまいりました。しかしながら、現在では、内部取引を控除し、外部取引のみで報告セグメントとしていることから、営業利益については、外部取引に対応するもののみと致しました。
- その他セグメントについては、従来、飲食店経営を含めておりましたが、その活動の主たる目的が酒類の広告宣伝及び販売促進であることから、酒類事業に含めることと致しました。また、持株会社共通費については、各セグメントに一定の基準をもって、配賦することと致しました。